

「あきらめは最大の敵」元パラリンピック選手の田中さんが講演



2月21日、元パラリンピックアルペンスキー日本代表の田中哲也さんを招いての家庭教育講演会が総合福祉センターで開催されました。

田中さんは青森県生まれ。中学校ではバスケットボール、高校では駅伝などで活躍していましたが、大学時代にオートバイの事故で右足切断の大けがを負いました。しかしその後は、持ち

前の意志の強さと運動神経を発揮。アルペンスキーではソルトトレイク、長野冬季五輪に出場したほか、ゴルフ、自転車の世界大会にも出場しています。

この日の講演で田中さんは、大けがから立ち直った経験を踏まえ、「あきらめは最大の敵。何をするにも、自分の可能性を信じて努力し、前向きに生きることが大切」と来場者に訴えました。

民謡連合会が発表会を開催し、1年間の練習の成果を披露

3月3日、芦別民謡連合会主催による民謡発表会が福祉センター大ホールで開催されました。

これは連合会加盟の研究会、秀晴会、むつみ会の皆さんが1年間の練習の成果を披露し、市民の皆さんと一緒に民謡の素晴らしさや奥深さを共有しようと開催されたものです。

当日、会場には子供からお年寄りまで100人を超える来場者でにぎわい、開幕演奏となった花笠音頭では今回参加した会員全員が出演。三味線を始めてわずか2か月という小学生が見事な演奏を披露したのをはじめ、ベテランならではの歌声を響かせるなど、来場者を楽しませました。



ファイターズ芦別応援大使に木製ネームタグ贈る



北海道日本ハムファイターズ球団が今年から、北海道本拠地移転10年目を記念して、所属選手を「北海道179市町村応援大使」とするプロジェクトを開始。この1年目に、武田久選手と矢貫俊之選手が「芦別市応援大使」を務めることになりました。

3月5日、このプロジェクトの今

年の対象となった市町村の代表を招いての「決起集会」が札幌市内のホテルで開催され、清澤市長も出席。会合に先立って、市長は武田、矢貫両選手に面会し、芦別市内の木工デザイナーが製作した木製ネームタグ＝写真上＝をプレゼント。「さまざまな企画を考えていますので、応援をよろしく」などと歓談しました。

昨年12月の衆議院議員総選挙で本市の投票率が道内35市中1位 北海道選挙管理委員会から表彰

昨年12月16日に行われた第46回衆議院議員総選挙で、芦別市の投票率が北海道内35市の中で1位となり、3月21日、北海道選挙管理委員会表彰を受けました。

この表彰は、投票成績のほか選挙啓発活動や開票成績などが優良と認められたものに贈られるものです。

芦別市選挙管理委員会では、積極的な啓発活動のほか、期日前投票の受付時間短縮や混雑解消を図ってきました。今年7月に第23回参議院選挙が予定されていますが、同選挙管理委員会では、「引き続き投票しやすい環境づくりに取り組み、投票率の向上に努めます」と話しています。

